

第96回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2017年6月20日（火）13時30分～16時10分
II. 場 所：日本機械学会 第3,4会議室
III. 出席者：飯田（東電FP）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、妹尾（関電）、
高野（中電）、豊嶋（MHPS 呉）、太原（東芝）
代理者：位田（黒川（KHI）
欠席者：関根（IHI）、野呂（富士電機）、田村（MHPS 日立）
事務局：原

IV. 配布資料

- 96-1 第95回構造分科会議事録（案）
- 96-2 構造分科会委員名簿
- 96-3 第80回火力専門委員会議事録（案）
- 96-4 第82回発電用設備規格委員会議事録案（案）
- 96-5 火力専門委員会書面投票（高クロム鋼関係）結果報告
- 96-6 用語集
- 96-7 欠番
- 96-8-1～ 欠番
- 96-9-1 レビュー票（KHI IV章 APPIX, ダブルチェック結果反映）
- 96-10-0 新旧対比表の記載例
- 96-10-1 新旧対比表（関電 III章 PG,APP B、V章 136,137）
- 96-11 審議履歴表

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 96-1]
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 分科会委員・役員の承認 [資料 96-2]
高野委員の退任が報告された。再任委員候補として飯田委員（主査）が出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

3. 報告事項

- (1)火力専門委員会報告 [資料 96-3]
5月18日開催の第80回火力専門委員会の主要項目が報告された。
○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
○第95回(4/25)構造分科会報告
・発電用火力設備規格201X年版レビュー票の審議状況
・高クロム鋼の強度見直しにかかる追補案の審議

- ・201X 年改訂版について、提案資料の量が多いことなどを考慮し、改訂内容が確定し提案資料の準備が整った章から個別に提案することもあることを説明。

○審議結果報告

- ・高クロム鋼の強度見直しに係る、追補・事例規格の提案（火力専門委員会の書面投票の実施。）が承認された。

(2)規格委員会報告

[資料 96-4]

6 月 6 日開催の第 82 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(5/18 開催)報告。
- ・高クロム鋼の強度見直しに係る、追補・事例規格の提案

(3)火力専門委員会書面投票 No.71 結果報告

[資料 96-5]

飯田主査から、火力専門委員会書面投票 No.71 について、投票結果、書面投票意見とその対応案、意見対応による修正案などについて、報告があった。

- No.1～No.4 の各投票議案は、いずれも投票成立・可決となっており、一部意見対応が残っている。
- 意見 No.15 の松田委員のご意見のみ、投票終了日直前に出されたものであったため、これから回答する予定。構造分科会に係るそれ以外のご意見は、対応案について意見者了承済である。
- 火力専門委員会の書面投票意見対応終了後に、発電用設備規格委員会の書面投票を実施する予定。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

[資料 96-6]

3 分科会共通の用語集について、新たな追記・変更箇所の確認を行った。

- dished head, dished cover のみ、引続き各委員がより良い用語があるか探す。赤字のまま残す。
- それ以外の新たな追記・変更箇所は確認済みとなった。

(2)レビュー票ダブルチェック反映審議

[資料 96-9]

○Ⅳ章 APPENDIX 9-5(e)

- ・9-5(e)については、特に取り入れない理由がない場合は極力 ASME を取り入れる方が望ましいこと、JIS に合わせる必要性がないことなどを考慮して、取り入れることとする。
- ・訳については、担当委員が見直す。

(3)レビュー票ダブルチェックの進捗状況の確認

[資料 96-11]

- Ⅲ～Ⅴ章の各担当箇所のダブルチェック、ダブルチェック結果反映の進捗状況の確認を行った。確認結果は、審議履歴表に反映。

○引き続きメールベースで連絡を取りながら、ダブルチェックの作業を進める。

(4) 新旧対比表の確認（Ⅲ章、Ⅴ章）

[資料 96-10]

妹尾委員が資料に基づき、新旧対比表の説明を行った。また、飯田主査が記載例を説明した。新旧対比表の書式、記載方法に係る確認事項は、以下のとおり。

○改訂が無い箇所についても、原則全文を記載することとする。改訂後に変更がなくても変更なしとせず、全文を掲載する。

○改訂前がなく、今回の改訂において追加になった箇所についても、全文に渡って下線を引く。

○改訂内容は、記載例のように行ごとに記載するのではなく、項の頭のところに該当するものをまとめて記載する。

○改訂内容は、記載例の 3P 目のものを参考にする。改訂内容の例は、必要に応じて適宜見直していく。

■今後の進め方

新旧対比表作成の優先順位は、Ⅲ章 → Ⅴ章とする。11 月後半に開催予定の火力専門委員会に提案できるよう準備を進める。

5. 次回開催予定

日 時：8 月 23 日(水)、25 日(金)の候補日の中から、欠席委員のご都合を確認して選定。

開催時間はいずれも、13 時 30 分～17 時。

場 所：日本機械学会 会議室

以 上